

# HEALTH CARE

The Newsletter of the Japan Health Care Dental Association

vol.11 no.3

(年間6回刊行・通巻062号)



日本ヘルスケア歯科研究会  
事務局 東京都文京区関口 1-45-15-104

☎ 03-5227-3716

Fax. 03-3260-4906

URL <http://www.healthcare.gr.jp>

E-mail : center@healthcare.gr.jp

編集代表 杉山精一

編集制作 有限会社 秋 編集事務所

ヘルスケアミーティング 2008

## ヘルスケア歯科診療を極める

2008年11月23(日・祝)・24日(振替休日)

会場：川口市民ホール フレンドィア

11  
/  
23  
(日・祝)

タイムテーブル

12:00～13:40

**Program 1**

息の長いチームをつくるために、何が必要か

「やらせてもらうわ、

私は一生仕事するのよ、文句ある？」

田村 恵 (河野歯科医院)



「仕事と育児~なるようにしかなりません、

あせらないで!!」

高須純子 (杉山歯科医院)



ルーム  
C・D

発表とディスカッションを行ないます  
事前登録が必要です  
要 事前登録 定員 300 名

スタッフ向け  
研修

13:50～15:30

**Program 4**

スタッフミーティング

コ・デンタルスタッフとしての日常臨床への関わり方

篠下タミユ (まさき歯科医院)

竹本早織 (つだ歯科)



発表とディスカッションを行ないます  
事前登録が必要です  
要 事前登録 定員 300 名

スタッフ向け  
研修

16:00～17:30

**Program 7**

ワークショップ

少人数グループに分かれて、  
ヘルスケア診療構築について  
ディスカッションをする。

色々な考え方や解決法がある  
ことを気づくことができる。

グループを地域別にして、地  
域でのネットワークづくりの  
きっかけとする。

楽しく盛り上がるワーク  
ショップを行う。

休  
憩

全体  
プログラム

**Program 3**

ヘルスケア診療所づくり 奮闘記

Part 1

上田康弘 (さくら歯科医院)

野村英孝 (あすなる歯科)



診療所づくり  
実践例

ルーム  
B

**Program 6**

ヘルスケア診療所づくり 奮闘記

Part 2

大久保 篤 (おおくぼ歯科)

高橋 啓 (たかはし歯科)



診療所づくり  
実践例

**Program 2**

ヘルスケア歯科診療とは

藤木省三 (大西歯科)



パリオドントロジー&カリオロジーの  
基礎知識を含む。(新人スタッフ向け)

スタッフ向け  
教育

ルーム  
A

**Program 5**

自費のメンテナンスを考える。

河野正清 (河野歯科医院)

井上恭子 (河野歯科医院)

長山和枝 (わたなべ歯科)



歯科医師  
向け



11月23日

ヘルスケアミーティング 2008

Program 1

12:00 ~ 13:40

ルーム C・D

企画責任者；藪下雅樹



要事前登録

定員 300名

### 息の長いチームをつくるために、何が必要か？

「やらせてもらうわ、私は一生仕事するのよ、文句ある？」

「仕事と育児~なるようにしかなりません。あせらないで！」

司会進行；井上 和（歯科衛生士・フリーランス）

女性が、結婚、出産、子育てを乗り越えて、長期間にわたり一つの診療所に勤務し続けること、それは長期間にわたり同じ患者さんの健康維持をサポートしていくことができる、ということでもある。

それを実践しているスタッフに、仕事に対する想い、長く来院者と関わってきたからこそ得られた感激や感動、そして乗り越えてきた困難等などについて語ってもらう。

そして自分達もそうなるには、何が必要でどうしたら良いのか？ グループでのディスカッションを通じて考えてみたいと思います。

グループ分けの関係で、事前登録が必要です。



#### 「やらせてもらうわ、私は一生仕事するのよ、文句ある？」

田村 恵（河野歯科 歯科衛生士）



今や女も一生働く時代です！ 子供ができれば歯科衛生士を辞める？ 子供ができたからってこんな楽しい仕事辞めちゃうんですか？ 育児しながら働き続けていると、患者さんとの話の幅が広がって、味のある歯科衛生士になりますよ～。さらに同じ医院に10年、15年といると一人の患者さんの健康のサポートにその年数私たちは携わってきたことになるわけです。それって歯科衛生士として最大のやりがいですよね？ そんなやりがいをゲットするにはいろんな障害を乗り越えなければなりません！ ずっと同じ医院に勤めていく工夫って何でしょう？

#### 「仕事と育児~なるようにしかなりません。あせらないで！」

高須純子（杉山歯科 歯科衛生士）



「今、仕事が楽しい！ やりがいもある！ ずっと続けたい！ だけど結婚や妊娠したら、仕事はどうしよう？」そんなふうにご考えてるアナタ！

大丈夫です♥ 仕事に対する情熱があれば、きっといろんなことも乗り越えられます。「なんとかなる」… この気持ちで、私もナントカやってきました。

本筋とは少しずれてしまう内容かもしれませんが、私の体験したことや、考えてきたこととお話したいと思います。

Program 2

12:00 ~ 13:40

ルーム A

企画責任者；藤木省三

### ヘルスケア歯科診療とは

「私たちの思いを患者さんにどのように伝えるのか」

藤木省三（大西歯科）



「院長、ヘルスケア歯科診療って何ですか？」とスタッフから聞かれたらどのように答えますか？ いざ始めてみると、今度は「院長、患者さんに言ってもわかってもらえないんです。やる気なくしちゃいました」とスタッフからまたまた不満が…。さて、どうしましょうか。頭ではこんなによいことと思っても、実際に始めてみると自分たちの思いが伝わりません。

私たちの仕事は、う蝕や歯周病の病因論を理解して患者さんに伝え理解していただくことが不可欠です。このパートでは、日本ヘルスケア歯科研究会設立当時の病因論の変遷を理解するとともに、実際の診療でのスタッフ全員が協力しておこなう創意工夫とその楽しさを伝えることができればと思います。



司会；渡辺 勝

### 「仲間が大切！ヘルスケアへの道」

上田康弘（さくら歯科医院）



開業して3年目に、先輩の紹介で、日本ヘルスケア歯科研究会を知り、2年前に、入会しました。昨年からは、東京ヘルスケアグループにも仲間入りしました。強いリーダーシップのもとに、着実に診療所づくりを進めている先生を横目に見ながら、優柔不断な自分は紆余曲折を繰り返してきました。困ったとき、迷ったときに助けてくれたのは、医院のスタッフであり、周りの先生であり歯科衛生士さんでした。スーパードクターではない先生に贈る奮闘記です。さくら歯科医院も、まだまだ道半ばです。どうしようか？ どうしたらいいの？ と思う先生がいたら、一緒に悩み、考えていきたいと思います。

### 「あすなる歯科のスタッフは…」

野村英孝（あすなる歯科）



約4年前、あすなる歯科のスタッフはこんな風感じていたそうです。  
 年長のベテラン歯科衛生士は、  
 「歯医者なんてこんなものだし、我慢、我慢。先生は何を考えているか分からない」  
 3年目の衛生士…  
 「何をすることも楽しくない。胃が痛い。食欲もないし、先生と会話もしたくない。やつ当たりをされているようで、ピクピクおびえてしまう。先生に気を遣って、患者様への心配りがおろそかになる。気疲れて1日が終わってしまう」  
 2年目の衛生士…  
 「3年経ったら辞めよう。みんなの前では泣けないから、車の中で泣きながら帰った。診療中に泣きそうなときはトイレに行って泣いたりしていた」  
 スタッフがそんな気持ちで働いていて、どうして成功できるでしょう？ 患者様よりも院長に気を遣っている人が、来院して下さる患者様とコミュニケーションを取ることができるのでしょうか？ できるはずがないのに、そんなことにも気づかず、私はただ腹を立てて、当たり散らしていたのです。それから1年半が過ぎ、平成18年2月のスタッフの感想です。  
 「私たちはうまくいっている。あすなる歯科にいれば夢が見られ、実現できる予感がある」  
 「医院を向上させるために何が必要か、分かってきた。夢がつかめそうで、それが実感できるから、力が湧いてくる。」  
 「働くのが楽しくなった。とにかくやるしかない。仕事が充実していると毎日が楽しい」  
 それからさらに2年過ぎ、スタッフを怒ることもまだ、たくさんありますし、イライラすることも多く日常茶飯事です。でも、最近はミーティングでは私が発言しなくても、私がいなくても進んでいきます。診療後に残って、患者様・医院のために残業や練習をニコニコしながら、2時間以上、時には3時間だってやってくれています。朝練もしばしば。  
 ほんとにありがたいですし、いいチームになってきたと実感しています。現在もまだ、チーム力UPへの試みは続いていますが、これまでの試みと苦悩、取り組みに関して紹介していきます。

## ヘルスケアミーティング 2008

11月23日

Program 4 13:50 ~ 15:30 ルーム C・D

企画責任者；藪下雅樹



要事前登録

定員 300名

## スタッフミーティング

チーム医療を考える コ・デンタルスタッフとしての日常臨床への関わり方

司会進行；井上 和

## 「チーム医療を考える」

受付、助手、新人を対象にしたプログラム。チームとしてヘルスケア型歯科医療を展開して行くうえで、歯科医師、歯科衛生士等の専門職とどのように協力し、助け合っていけば良いのか？ 2 医院からの事例発表をもとにグループでのディスカッションを行い、体験学習していきます。歯科医師、歯科衛生士の方も奮ってご参加をお待ちしています。グループ分けのため事前登録が必要です。

## 「キラキラ輝く笑顔のために」



藪下タミエ（まさき歯科医院 受付）

キラキラ輝いた笑顔で患者様をお迎えし、仲間と素晴らしい毎日を過ごしたい！辛いことも、苦しいことも、困ったことも、わからないことも怖くない！失敗だって怖くない！常に前を向いている素敵な仲間と一緒にいたい！そんな中で仕事がしたい！心からの願いです。

どうしたらそうなれるのか？

「チーム医療」について皆様とディスカッションさせていただきたいと思います。

## 「ますますこれからの受付」



竹本早織（つだ歯科 受付・助手）

歯科医院を訪れる来院者の方々にも、生活があり仕事があり、そして日常の中の事情や、想いを持って来院されます。一人ひとりの来院者が抱えるそれらのことを抜きにして、医療活動がすすんでいるなかでは、自ら改善しようとする本来持っている能力にさえ気づくことがないようです。来院者を受容し支援するなかで、反対に医院側が力づけられ、学び、支援され、支えられる中で歯科医院は地域の資源として、成長するように感じます。

来院者という地域の代表と医院の協働する部分を、皆さんと考えてみたいと思います。

Program 5 13:50 ~ 15:30 ルーム A

企画責任者；河野正清



## 自費のメンテナンスを考える。

河野正清（河野歯科医院） 井上恭子（河野歯科医院） 長山和枝（わたなべ歯科）  
司会；秋元秀俊

メンテナンス……私たちは、再発を予防し、健康を維持するための口腔ケアの専門家によるサポートのことをこう呼んでいます。子どものむし歯予防から、ハイリスクの患者の術後管理、あるいは健康な人が快適に過ごすための定期通院まで、その内容は様々ですが、私たちは、このメンテナンスこそが歯科医療の大前提であり、土台であると考えています。ところが現実には、「自費でメンテナンスなんてできっこない」とかと言って「健康な人のケアを保険でするのはどうも…」という割り切れない思いを抱えています。「保険か、自費か」そんなことはどうでもいいのです。しかし、患者さんとの長い信頼関係が、いつ崩れるか分からないグレーの制度に依存していることは、心配です。

そこで、自費のメンテナンスを続ける診療所の歯科衛生士と自費転換を始めた診療所の歯科衛生士に、患者さんとの間にどんな困難があり、どんなメリットを感じているか報告してもらい、フロアといっしょにメンテナンスのあり方をディスカッションし、考えます。



Program 6 13:50 ~ 15:30 ルーム B

企画責任者；渡辺 勝



司会；渡辺 勝

## ヘルスケア診療所づくり奮闘記 Part2

## 患者さんと一生つき合える歯科診療所を目指して——おおくぼ歯科の迷走4年

大久保篤（おおくぼ歯科）



患者主体の歯科診療を考えた場合、現在の保険制度の下で、それを実行していくのは、とても困難と思われる。しかし、患者主体の診療を継続していくことは、歯科医師自身やスタッフにも仕事のやりがいと未来への希望を与えることとなり、患者と診療所の双方にとって明るい未来が開けると思っています。口で言うのは簡単ですが、何事も実行していくことが大事です。成功している歯科医院とは、とても言えませんが、開業から4年間のおおくぼ歯科の実態を検証してみたいと思います。

内容

開業時に考えていたこと・現在考えていることなど／スタッフの推移・診療時間の推移・患者の推移（新患や来院患者数）・レセプト数の推移・メンテナンス患者数の推移ほか／認証取得について／診療体制・メンテナンス内容ほか

## 関西ヘルスケア談話会で学んだ診療室づくり

高橋 啓（たかはし歯科）



数年前に“予防をベースにおいた診療室を作りたい”と思っても、何からやっていいのか分かりませんでした。私の場合、予防中心の診療所づくりを進めていくうえで、すでに実践している診療所のアドバイスがとても参考になりました。じゃあ、具体的にどうしたか？ を中心にお話したいと思います。これから取り組む診療室の参考になれば幸いです。

Program 7 16:00 ~ 17:30

企画責任者；井上 和

## ワークショップ

司会進行；井上 和



もっと医院を良くしたい、もっと患者さんを笑顔にしたい、もっと自分を成長させたいと思いますよね。もっと楽になりたいなんて思う日もある。さあどうしましょう。

一番早いのは「うまくいっている人に聞く」です。

どの本を読んだらいいの？ どこから始めればいい？ 反対された、どうしたらいい？ いったいいくらかかるの？ こっちとあっち、どちらが使いやすい？ 教えてもらいましょう！ 悩んでいるの、相談にのってほしい、自分にもできますか？ 聞いてもらいましょう！ 例の有名医院に見学に行きたい、直接お願いしましょう！

千載一遇のチャンスは11月23日16時到来。

わくわく元気になります、うれしくなります、喜ぶ顔が見られます、明日からの仕事が楽しみになります、誰かに教えてあげたくなります……いえ絶対教えます。

ヘルスケアミーティングワークショップは、どんなお仕事の方も参加可能です。あなたに来ていただきたいのです。全員でわいわいガヤガヤ楽しく盛り上がりましょう。お役立ちネタ満載のワークショップ。お楽しみに！！

11月24日

ヘルスケアミーティング 2008

Program 8

10:00 ~ 11:30

ルーム B

企画責任者；齊藤 仁



## 認証への道



山口將日（山口歯科医院・行方市）

私は、第一回の認証ミーティングに参加し、口腔内写真の質が悪く、不合格となり（不合格第1号でした）、2006年4月に再度受験し、認証をいただいた山口將日です。

2008年の7月より医院をリニューアルしましたが、今回、認証を取る経緯を振り返り、どういう風にリニューアルにいたったかをお話したいと思います。認証を取ろうかお考えの方に少しでも参考になり、背中をおすことができたらと考えています。よろしくお願いします。



浦崎裕之（浦崎歯科医院・金沢市）

開業して18年になります。2007年2月に認証診療所に認定されました。

予防が基本にある診療をしようと考え始めた頃から現在に至るまで、スタッフとともに研究会のミーティングに参加し、またニュースレター、コアメンバーの方々の論文を院内の勉強会で抄読しながら、研究会を通して多くのことを学ばせていただきました。今の浦崎歯科医院はウイステリアひとつとっても、日本ヘルスケア歯科研究会の存在がなければあり得ません。

現在の診療所形態にいたる過程、認証を受けようと思った理由などを聞いていただくことによって、認証歯科医院が増え、さらに有意義な研究会となるようお役に立てれば幸いです。

Program 9

10:00 ~ 11:30

ルーム A

企画責任者；河野正清



要事前登録

## シャープニング講習会

定員 60名

風見健一（株式会社シャープニング CEO）

アシスタント：井上 和（フリーランス） 田村 恵（河野歯科医院） 長山和枝（わたなべ歯科）

府川美佐子（鈴木歯科） 北原あゆみ（まさき歯科） 蓮見 愛（杉山歯科）

落合真理子（もりや歯科）



歯科衛生士のシャープニング技術の習得は、歯周治療のできる診療所づくりの基礎の基礎。しかも講習を受ければ、だれでも確実にレベルアップします。まだ、シャープニング実習を受けたことのない歯科衛生士さんは是非この機会に受講してください。

ハンズオンコースですので、受講者数に限りがあります。事前登録が必要です。

11月24日

ヘルスケアミーティング 2008

Program 10 10:00 ~ 11:30

ルーム C・D

企画責任者；田中正大



### ワンポイントレッスン会場

#### 口腔内写真撮影

川嶋紀子（河野歯科医院） 浜端町子（丸山歯科医院） 山口志穂（笠島歯科医院）

楽に、速く、しかも上手に撮れる、ちょっとしたコツを伝授します。先着、数名の方は実際に体験もできます。口腔内写真撮影でお悩みの方、ぜひ、お立ち寄りください。



第1期歯科衛生士育成コースより

#### デジタルカメラの選択法

成田信一（自由が丘矯正歯科クリニック） 杉山精一（杉山歯科医院）

ヘルスケア臨床に必須の口腔内撮影カメラ、はじめてなんだけどどの機種にしたらいいか、もっと使い勝手のいい機種はないか、もう1台リーズナブルな機種が欲しい、などと考えている方のために企画しました。当日は具体的な市販品の組み合わせ例、口腔内撮影専用カメラの展示などを行いますので機種選択の場として立ち寄ってください。



#### 受付での電話対応

山見理恵（河野歯科医院）

『電話に出た人は、その医院の声の代表です』河野歯科医院に勤務当初受講させていただいた電話対応セミナーで印象的だった一節です。あれから八年… このフレーズは受付としての大切な心構えとして、いつも私の心に響いています。

このセミナーを通して、私が学んだ電話対応のノウハウと私の体験を、皆さんにお伝えできたらと思っています。そして、電話対応での悩みを皆さんで話し合い、解決できる機会になれば、幸いです。



#### 唾液検査結果の活用、O.H.I.S.の活用

足本 敦（ワイエイデンタルクリニック）

一昔前とは違い、今や巷に多くの唾液検査キットが出回っています。それぞれに一長一短あり、診療室でどのキットを採用するのかに頭を悩ますこともあるでしょう。

また、診査した結果を説明する方法もさまざまです。

今回は唾液検査結果の説明をするにあたりどのような工夫をしているか、歯周病検査の結果の推移説明についてはO.H.I.S.を用いる方法を紹介します。



11月24日

ヘルスケアミーティング 2008

## 禁煙支援

高木景子（たかぎ歯科医院） 渡辺 勝（わたなべ歯科）ほか禁煙支援部会

タバコは歯周病の一番のリスクファクター。そう、禁煙支援は歯周治療の成功には不可欠なツールです。でも… なかなか禁煙支援が成功しない。そんな経験はありませんか？ じゃ、どうすれば良いのか？ 患者さんと仲良くなれる、明日からできる禁煙支援を成功させるコツをこっそり伝授します。



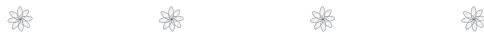
## ウイステリア使用法と活用

藤木省三（大西歯科医院） 斉藤 仁（斉藤歯科室）

みなさんは一日何人の患者さんの口腔内写真を見えていますか？ 私は、カルテチェックも含めると一日に30人以上の口腔内写真を見えています。

口腔内写真を見るには、カルテ番号か患者さんのふりがなで検索してから表示させるのが普通だと思います。ウイステリアとアポイント管理職を組み合わせると3回クリックするだけで目的の写真を表示できます。術前術後の比較も極めて簡単です。ヘルスケア的診療を実践している中から生まれた専用ソフトだからできることだと思います。

ウイステリアとアポイント管理職の組み合わせで、別世界を体験してみませんか？



## 検査導入のしかた

渡邊征男（歯科医師 ゆきお歯科医院・佐倉市）  
武内淳子（同 歯科衛生士） 小泉友紀枝（同 歯科衛生士）

「当たり前のこと」と考えるゆきお歯科医院での検査とは 一患者利益を求めて—

ゆきお歯科医院は開業9年目のごく一般的な郊外型の歯科医院です。当院ではほとんどの初診患者さんに対してサリバテストや歯周病検査を実施しています。私たちが行っている“当たり前の検査の実施”についてお話させていただきます。



## タイプ別コミュニケーション

阿部 恵（しんろう歯科医院）

皆さん、コミュニケーション、いかがお過ごしですか？

日々の診療において、困った場面に遭遇することはありませんか？

こちらの問いかけに対して、言葉少なく不機嫌そうな、おじさんや、限られたチャアタイムの中であって、自分の話したいことを繰り返してしゃべり続けて止まらないおばさん… 「どうして？ 私には理解できない！」… このような問題を解決に導くひとつのヒントがあります。お越しを心からお待ちしています。



11月24日

ヘルスケアミーティング 2008

Program 11 13:00 ~ 16:00

ルーム B・C・D

企画責任者；成田信一



## ヘルスケア診療におけるスタッフの役割，院内での人間関係

岩淵龍正（経営戦略研究所株式会社 代表取締役）

岩淵龍正の毎日が歯科医院経営コンサルティング！ <http://blog.consuldent.jp/>

岩淵龍正 歯科医院地域一番実践会 地域一番化マスター

学習院大学経済学部経営学科卒業。

大学ではマーケティングを専攻し、大学で学んだマーケティングを活かせる企業として、大手経営コンサルティング会社に入社。入社後は、サービス業のチームで修行後、自ら、歯科医院経営活性化プロジェクトチームを立ち上げ、人脈なし、ノウハウなし、経験なし、の状態から、続々と地域一番医院を創り上げる。

2005年、経営戦略研究所株式会社、代表取締役社長に就任。歯科医院に対する経営コンサルティング業務を行うと共に、歯科医院地域一番実践会を主宰。地域一番を目指す、志の高い、厳選された100医院が全国から参加。歯科医院の現場に密着した経営コンサルティングを信条とし、机上の空論に終わらない、結果が出るコンサルティングを目指し、現在も、クライアントとともに日夜、格闘している。



年齢不詳，  
横須賀市生まれ。

イラスト：ホームページより

Program 12 13:00 ~ 16:00

ルーム A

企画責任者；渡辺 勝



## ヘルスケア診療所づくり

「知っている」を「やっている」に

千田利幸（ブースト・ドリーム・コンサルティング「オフィス T.S」代表）

ICG 国際コンサルタンツグループ正会員

日本コーチ協会正会員

（財）生涯学習開発財団認定コーチ

米国 NLP 協会認定プラクティショナー

日本メンタルヘルス協会基礎心理カウンセラー

1964年岐阜県多治見市生まれ



平成6年携帯電話販売会社 有限会社テイクオフ設立し代表取締役に就任するも、平成9年に個人負債1億円を抱え個人破産寸前になる。その当時出会った大手企業役員出身の社長より、土地活用の提案営業を叩き込まれ、2000万～3000万円するリース物件の営業活動を通じて「営業の真髄」を学ぶ。

その後、「歯科医院と患者さんの架け橋」コミュニケーションツール「DentalIX」の全国展開に営業部長として参画。その活動の中で、歯科医院を元気にすると言われるセミナーを年間100回開催し、講師として活躍する。

足かけ10年かけて1億円の負債のほとんどを返済。その体験からくる独特の「プラス受信」と数千件の歯科医院の方々から得たノウハウを武器に2008年4月「ブースト・ドリーム・コンサルティング」を設立。クライアントと「共に成長する」をモットーに「同じ目線」に立ってモチベーションを上げながら、問題点を解決していくコンサルティングをスタート。

また、「日本中を元気にしたい」とコーチ、カウンセラーとしても活躍中。そのコーチングは「壁を越えて自分と対話できるコーチング！」「元気になるコーチング！」とクライアントから大絶賛。

今、歯科医院を元気にするセミナーを全国で開催中。各界のスペシャリストとのコラボレーションセミナーも4月よりスタートし、大好評でシリーズ化している。

「大人が夢を語ることで子供も夢を語る」お互いに夢の実現を支援する社会を目指して、毎日を元気に生きています！

「どんな仕事も楽しくなる3つの物語」著者

**推薦** 福島正伸氏（株式会社アントレプレナーセンター 代表取締役）

千田さんを一言で表現するとすれば、そこにいるだけで、まわり中の人の心の中に火をつけてくれる人です。大変な苦勞をしてきたにもかかわらず、それらの体験をすべて自分の糧にして、他人のために役立つことに生きがいを感じています。次代のリーダーの一人であると確信しています。

11月24日

ヘルスケアミーティング 2008

Program 13 16:00 ~ 16:30

ルーム A

企画責任者；田中正大



## ヘルスケア診療所づくり

フォローアッププログラム

田中正大（田中歯科クリニック）

講習会やシンポジウムに出た後はいつも、「よーしやるぞー」という気持ちになっているのに、日が経つにつれその気持ちが薄れていき、結局何も変わらなかったという体験はありませんか。高くなったモチベーションは、何もしなければ下がっていくものです。ある意味当たり前前の結果なのですが、それではせっかく時間とお金を割いて来た意味がありませんよね。

このプログラムは、そのような結果にならないように、ヘルスケア型診療所づくりの各段階を、プログラムの参加者みんなと一緒に行動し、ステップアップしていけるようにフォローしていくためのものです。シンポジウムの最後で詳細について説明し参加者を募ります。

## ポスター発表大募集！

11月23・24日 エントランスロビーにて展示・発表

## ポスターテーマ「患者さんへの情報提供」

担当責任者：杉山精一（コメンター）

待合室での掲示、健康ノートの活用、医院独自の来院者向け新聞やパンフレット、さらにホームページでの情報提供などなど。各医院で工夫している事例をポスターで発表してください。診療室でまとまって発表作業を手がけるとグリーンと診療室がレベルアップします。さあ、挑戦してみてください。

会場：エントランスロビー

発表者：会員有志（個人、診療所単位、グループ可）

発表者（正会員）には2ヘルス（研究会内通貨）付与します。

形式：ポスター発表

展示スペース：幅 90 cm × 高さ 120 cm まで

大判のプリントで仕上げるときれいですが、模造紙に手書きでも、内容が独創的であれば十分です。

写真が必要な場合は、A4～A5程度のプリントを模造紙に貼ってください。

A3までのプリントは事務局でサポートします。お問い合わせください。

※ポスターは、1日目開会前から2日目閉会までエントランスのロビーに掲示します。

1日目の夕方に発表・質疑の時間を設けます。

※発表お申し込みいただいた方に説明書を送付いたします。まずは、お問い合わせください。

※発表ポスターはニュースレターに掲載します。なお、優秀賞を選考・表彰する予定です。

第10回ヘルスケアシンポジウム  
ポスターセッションの様子ヘルスケアミーティング 2007  
ポスター発表の様子

申込締切：8月31日

ポスターの提出締切：11月23日（当日）12時まで

事務局に掲示を依頼する場合は、11月20日（木）必着

事務局にプリント依頼する場合は、11月14日（金）データ必着

## 法人展示 会場ロビーにて

11月23日 12:00 ~ 17:30

24日 10:00 ~ 16:30

是非お立ち寄り下さい

# ヘルスケア歯科研究会と 私の診療所の10年

## 十牛図

伊藤 中 (伊藤歯科クリニック・茨木市開業 コアメンバー)

十牛図というのをご存知でしょうか？ 禪の悟りにいたる道筋を、牛を自分の心に見立てて10枚の絵(10段階)で描いた、まあ10コマ漫画とでもいうようなものです。自分が何者であるかを自らに問いかける(牛を探す)ところから始まり、牛を捕らえ、手なづけ、その後、牛の存在を忘れ、現実の世界で人々を導くようになるところまでが描かれています。その解釈には、いろいろと意見があるようですが、私は、これを自分の診療室の過去、現在、そして未来に当てはめて見てしまいます。

日本ヘルスケア歯科研究会が生まれた1998年。私は既に【牛】、つまり自分の診療室の進むべき方向性は見いだしていました。それは、素晴らしい先輩との出会いによるところが非常に大きかったのですが、ともかく、見つけた牛をなんとか手なづけようと、様々な努力を重ねていました。研究会入会後も、その苦闘はしばらく続く(今も続けているのかもしれませんが…)のですが、10年経過した今、これまで自分の診療室に課してきた内容が、当たり前ものになっていることを実感できるようになっています。それほど強く意識をしなくても、ルーティンワークとして、様々なメニューが粛々

と進められていきます。いわば牛の存在を忘れる段階にまで来られたのかもしれませんが。

この段階に到るまでの原動力は、【患者利益】という言葉でした。「健康を守り育てる歯科医療は患者利益になる」、その通りだと思いました。今も、そう信じてやみません。

一方で、研究会では、患者さんの臨床データを蓄積し、診療室の現状を把握することの重要性を強調してきました。私も臨床データを蓄積し、様々な角度から分析することで、多くのことに気づかされてきました。【牛】を意識せずに、データ、つまり目の前にいる患者さんの現状を、客観的に見てみると、自分は【健康を守り育てる歯科医療】というものを矮小化して考えていたのではないかと考えざるを得ませんでした。

また、一昨年より行われているQOL調査の患者さんの回答などを見ていると、私たちが使っている【カリエスフリー】といったような目標も歯科医療従事者の立場からのものにすぎず、本当に重要なのは、個々の患者さんとしっかり向き合い、今後のライフサイクルの中で、口腔内の不調が原因でQOLの低下を来すことのないように、様々なアドバイスをしたり、ある時は治療介入をしたりすること、それこそが患者利益につながるのではないかと感ずるようになりました。そして、そのような視点で考えてみると、自分の診療室で現在行っている【健康を守り育てる歯科医療】にも過剰な部分があったり、不足している部分があったりすることは否定できませんでした。

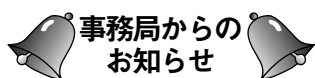
【十牛図】の最後の一枚は、現実社会の中で人を助けていく姿なのですが、患者さんとともに進むという現実の中での歯科医院としての十牛図の最後は、これまで積み重ねてきたものを洗練しながら、患者さんの様々なニーズに応じていくこと。そのために習得しておくべき知識や技術に関して、自分には足りないものが非常に多いことを痛感させられました。

何か当たり前になるまで打ち込むことは、もちろん大切なことですが、その周辺がおろそかになっていたことを反省しています。

今後は、より広い視野から自らの研鑽を重ね、自分なりの色合いがにじみ出るような歯科臨床の実践に向けて全精力を注いでいきたいと考えています。



【得牛】(とくぎゅう)  
4枚目の図



## 当会ホームページの会員用IDとパスワードを変更します

2008年8月1日(金)よりホームページの会員用IDとパスワードを変更しますのでご注意ください。

また「会員診療所検索」利用時の「会員ログイン」IDとパスワードも新ID・パスワードになります。

新ID・パスワードは今回(Vol.11 no.3)のニュースレターに同封の「会員用IDとパスワード変更のお知らせ」をご確認ください。なお、2008年度会費をお振り込みいただいた会員の方へお送りしています。

# ヘルスケア フォーラム

## ワンデーセミナー大阪報告

2008年6月15日 千里ライフサイエンスセンター

### 驚くことばかり

辻 由紀子 (杉山歯科医院 歯科医師)

6月15日に大阪の千里ライフサイエンスセンターにて開催された、ワンデーセミナー大阪に参加してきました。～スタッフまるごと医院を変える～ワンデーセミナーということで数名のスタッフ(歯科衛生士)と参加している医院が多く、半数以上女性が占めているようでした。

まず午前中は、杉山先生と歯科衛生士の蓮見さんから杉山歯科医院の現在の診療体制になるまでの過程や、歯科衛生士業務における工夫や注意点、医院におけるデータを知ることの重要性についてのお話がありました。実際蓮見さんが口腔内写真を撮影している動画も流され、どのような点に注意して撮影しているか詳しく説明がありメモをとりながら聞いている方もいらっしゃいました。

午後からは、まず足本先生からカリオロジーとペリオの病因論についての説明があり、カリエスとペリオのリスクを把握し、疾病を未然に防ぎ、再発を予防する為に医院で行っている検査についてのお話がありました。



次に田中先生からヘルスケア七転び八起き～ヘルスケアとの出会いから現在まで～と題して、現在に至るまでの10年間、医院の変化や自分自身の変化についてのお話がありました。すべて順調とはいかず失敗談、試行錯誤したこともさらけ出してお話しされ、みなさん共通する悩みをもっている人もいようで時折笑いもおこっていました。

最近実家の歯科医院でも父が口腔内写真を撮り始めようと動き出しました。ただ撮るだけでなくデータの管理をどうするか、患者さんにどのようにみせるか悪戦苦闘しています。口腔内写真を撮ったり、パソコンでデータを管理したり、リコールのシステムを作ったり、今までいくつかの診療室の発表を見てきました。大学と実家の歯科医院しかみたことのない私は驚くことばかりでした。今回ここにたどり着くまでの診療室の過程が聴け、裏側が覗けたようで、とてもひきつけられました。



## ワンデーセミナー福岡報告

2008年6月29日 福岡商工会議所

半田 正 (福岡県糸島郡開業)

6月29日(日)福岡商工会議所(福岡市博多区)会議室で日本ヘルスケア歯科研究会のワンデーセミナーが行われました。九州での初めての研修会であり、参加に不安がありましたが大変多くの参加者があり、広い会議室もほぼ満席状態でした。

オリエンテーションの後、まず藤木会長による「健康を守り育てる歯科医療」というテーマでう蝕と歯周病の病因論から、その予防・管理法までの講義がありました。次に斉藤 仁さんが「ヘルスケアとの出会いから現在まで」を、ご自分の診療所がどの様に変化していったかを説明して頂きました。「さいとう歯科室」というネーミングの思いから、患者さん

の健康を守り育てる思いが強く感じられました。現在、歯科医院の過当競争の時代、どこも歯科医院も新患数の増加が望めない今、素晴らしい報告でした。できれば、新しく開業して伸び悩んでいる若手の院長先生方にもっと多く聞いてほしい内容でした。

自分の医院をどう変えていったかが午前の講演でした。午後からは、私たちの歯科医院をどう変えていったら良いかを懇切丁寧に話していただきました。演者お二人共札幌・神戸という歯科激戦地で、一般の開業医として普通の診療を行いながら、予防に基づいた患者管理を行っておられます。やはり両医院とも新患数は伸び悩んでいるのに、定期管理の患者さんがどんどん溜まってきている現実を、詳しく来院患者分析して説明してい

いただきました。そして完全に満杯状態でした。しかも、両講師の診療所とも、ドクターは院長1人、それに数名の歯科衛生士とアシスタントという、どこにもある医院規模でした。近隣の歯科医院と競合することなく、来院されている患者さんを、きちっと管理していくことの重要性を教えてくださいました。

### 受講者の声①（歯科医院勤務スタッフ）

今では『予防』と言うことが、一般の方にも理解されているいろいろな情報によって関心を持たれ、受け入れてもらいやすい状況にあると思います。これを、定着させるために長い時間をかけて繰り返し説明してきたことはとても素晴らしいと思いました。強い信念を持って健康で快適な生活を送ってほしいという願いがしっかりと伝わってきました。新しいことをはじめるには気持ちや労力などさまざまにことが求められるはずですが、先生方と一緒にしっかりサポートしていただければそう安心できると思いました。ありがとうございました。

### 受講者の声②（歯科医院勤務スタッフ）

斉藤先生が従来型（修復）の治療方法に疑問を持ち、葛藤されながら自分の道を探し出して自分の信念を持ち、それに立ち向かっていく努力は並大抵のことではなかったと思います。先生の話聞いて予防といながら治療中心で患者さんと接してしまっていた自分に気づかされました。虫歯にならないようするのではなく…、患者さん自身が健康に過ごしていけるようにしていくこと。

そのためには、患者さんのことをよく知ること、患者さんに情報を分かりやすく伝えていくこと、診療理念も理解してもらわないといけません。食生活やカリエスリスクは、患者さんに興味を持ってもらうための第1歩… 簡単なようで難しいことだと思いました。いろいろな話が聞けて、とても勉強になりました。ありがとうございました。

### 受講者の声③（歯科医院勤務スタッフ）

今回のセミナーに参加して、日本ヘルスケア歯科研究会が、またはんだ歯科の院長が今まで何を言ってきたのかほんの少し理解できたような気がします。大西歯科では、役割分担がきちっとあり、みんなで力を合わせていることで治療がスムーズにできるのだと思いました。小児に関しても子供たちが楽しく治療できる工夫も考えてありました。検査やデータを取っても、患者さんの小さな変化にきちんと気づかないと何の意味もないのだと感じました。検査やデータの取り方は同じでも医院によって、地域や来院患者さんの年齢層・知識が違ってくるので、はんだ歯科でどうやってうまく活用すると患者さんの健康が守れるかを考えていく必要があると思いました。

### 受講者の声④（歯科医院勤務スタッフ）

「ペリオドントロジーとカリオロジーの基づく臨床」についての感想

まず、なんと小難しい名称の講演なんだろう… と構えて聞いていたのですが、斉藤先生の分かりやすく面白なお話にどんどん引き込まれていきました。斉藤先生がどんなに強い思いをもって現在の「歯科室」を開業されたのかということがよく分かりました。予防ベースの歯科医院にしようと思ったあとの斉藤先生の素早い決断にはびっくりさせられました。「こうやっていこう!」というひとつの強い信念が根底にあれば予防ベース主体のシステムもスムーズに流れていくということ。各スタッフの役割分担がしっかりとできていれば診療もスムーズに行えるということ等、いろいろ考えさせられました。簡単なようで難しいことだと思います。

またスタッフの皆さんが自らミーティングを（しかも時間外）しようと言える環境であるということも素晴らしいことだと感じさせられました。

診療に入る前に患者さんに独自のパ



ンフレットを読んでもらうとかの工夫もしてあり、また一番心に残ったのは患者さんにほんとは幸せな生活を送ってほしいという思いを込めて予防についての説明をしたら患者さんには伝わるということでした。

スタッフも一人ひとりが信念をもって患者さんに接しなければいけないなと思い、自分自身至らないことが多いので反省にもなりました。貴重なお話をありがとうございました。

九州の受講者に、この日本ヘルスケア歯科研究会の素晴らしい哲学と、その方法について一生懸命にお伝えしたいという熱意を感じられました。そして、1日でのどのように何を伝えるか、真剣に考え抜かれた研修会でした。私達の診療所に来院されている患者さんへ、歯科診療を通して幸せになっていただくのだという強い思いが感じられました。講師をしてくださった方々の患者さんから大変信頼されている姿が目につく研修会でした。

是非、九州で二の矢三の矢を放ち九州の研究会会員の胸に感動の矢を打ち続けていただきたいと思います。



受付はボランティアの杉山精一さん（コアメンバー）とはんだ歯科の皆さん

## 東京ヘルスケアグループ主催 コーチングセミナーに参加して

2008年5月18日 タカラベルモント

上田康弘（さくら歯科医院）

今回、初めてコーチングセミナーというものに参加しました。このセミナーも、講師の先生の話、机で聞くというのではなく、みんなで輪になって話しを聞き、ロールプレイで、互いに実習を行うというものでした。

始まって、すぐに、阿部 恵さんの話に引き込まれていきました。内容もそうですが、いかに伝えるか、というのが上

手なのだと思います。これは、患者さんやスタッフに対して、どう話をし、伝えるのかという、コミュニケーションをどうするか？ということにもつながります。

今回のコーチングセミナーに参加して思ったことは、相手の思うことをいかに引き出すかということの大切さと難しさ。また、相手自身に考えてもらうということ。普段は、自分の意見を相手に言っているだけだったかなと思いました。

また、自分が、コーチングしてもらって、とても考えました。自分がこうしたいと思うことと、それができない理由。はっきり分かったわけではないけれど、そこと向き合わないとうまくはいかないということ。

普段は、あまり経験しない考え方や方法に触れたり、自分について見つめてみたりして、とても充実した1日となりました。次回があれば、ぜひ参加したいと思います。



## わたなべ歯科主催 ハーフ & ハーフセミナー

2008年6月15日 川口市民ホール フレンドピア

### 開催報告

渡辺 勝・長山和枝（わたなべ歯科）

ものすごくいい会でしたね！真面目に、感動してしまいました。

一番は、あの日も言いましたけど、「歯医者さんに行きたい！」と思っちゃう自分がいたこと。

で、そう思った一番の理由は、「衛生士さんが主役」という渡辺さんの想いが、会全体に溢れかえっていたからだと思います。

皆さんの熱い思いに触れられてよかった！会場の聴講者ひとりひとりの思いも熱かったです！

そんな中に、いることができただけで楽しかった！

そういう一日でした。

NHK『ためしてガッテン』  
プロデューサー・北折一

6月15日（日）に「ハーフ&ハーフセミナー」をフレンドピア（川口市）に

で行いました。新潟、奈良を含む遠方からの参加者も含め満席70名以上の参加者となり、急遽会場を広げるなどして対応し熱気溢れる一日を過ごすことができました。

まず、アイスブレイクはLife Energy Cleationの浅田さん。フレンドレッドを絡めた自己紹介と浅田流ジャンケン占いで、緊張している発表者の心を見事にほぐしてくださいました。参加者とも一体になったところで、フレッシュなプレゼンターの発表開始。今回の発表者はほとんどが初めてのケースプレゼンテーションでしたが、皆さん、自分の疑問を自分の言葉でしっかりと発表しており、素晴らしい発表でした。教科書的な質問ではなく、臨床に真剣に向き合ってからこそ出てくる素直な疑問は、参加者の共感呼び、会場からは

あたたかいアドバイスが沢山出てきました。

また、今回コメンテータには、各分野でのスペシャリストとして、歯周病では島田さん、コミュニケーションで浅田さん、EBMの豊島さんをお願いしていたのですが、その豊島さんに臨床でのエビデンスの使い方を含め、総括したコメントをいただきました。

ランチョンセミナーにも引き続き登場していただきICDAS IIのわかりやすい解説。難しくながちなテーマですが参加者も真剣に聞き入っていました。

午後は皆さんお待ちかねの「ためしてガッテン」のプロデューサーの北折さん。番組の作り方と絡めて、「つつい行動に移す仕組み」そして、「継続させ



アイスブレイク





コメンテータの島田さん

サーの北折さんと、私たち医療に携わる者の不思議な共通点を発見できました。

午前中の症例発表もまさに、患者さんの健康のために… 勿論、それが患者さんの幸せと捉え、何とか口腔内を良くしよう… そのために自分ができる戦術、戦略を考え、奮闘している歯科衛生士さんたちの姿を見せていただきました。一緒に問題点や疑問点を考えてみましたが、少しずつ患者さんが良い方向に向かうことが私たちの喜びです。難しい症例のときは、その感情がより強くなります。そんな思いを共有できました。

北折さんは番組を作りあげるとき、テレビの前の人の心理状態をコントロールするように伝える工夫を常に考えています。その反応は視聴率や番組中からかかってくる電話などで判断され、手ごたえを感じたときが最高の喜びとなるそうです。

「喜び」＝「うれしい」と思うことで脳から快樂物質が出て、また人が頑張ろうという気持ちへの最短距離になるそうです。

人に何か情報を伝えるという行為も北折さんと私たちの共通な部分です。北折さんがお話ししてくれた伝える工夫は、私たちもすぐに取り入れられるものでした。

少しでも伝える情報を面白くする… 遠くて目に見えない目標には負けやすいので、「近く」「目に見えるように」「楽しく」感じるように、作戦を考える… などでした。

セミナーの最後には、自分なりにそれを踏まえながら、初対面の方と夢を語りあったのですが… うまく伝わったでしょうか？

セミナーで聞いた情報や、その時持った気持ちを忘れないためにも、うまく医院で活用できる工夫が必要だと思いました。そして、フレッシュなプレゼンターの方々のエネルギーに負けないよう、患者さんと向き合い、いつも脳からβエンドルフィンが出るような歯科衛生士として、幸せな生活を送るお手伝いを今後も続けていきたいと思いました。

佐藤寿江（内田歯科医院）

\* \* \*

### ゴールの違い

まず、新人の歯科衛生士さんたちは普段から自分の受け持った患者さんの口腔内の健康を考えており、また、リコールの間隔をどのくらいにすれば良いのかといった悩みも伝わってきましたし、大変すばらしいことだと思いました。しかし、PCRのパーセンテージを下げることに着目しすぎているのではないのか、実際のところ患者さんの考えているゴールと新人の歯科衛生士さんの考えているゴールとのギャップがあるように思える面もありました。総括すると治してあげようとする気持ちが先走っている部分はありますが、今のままで、情熱をもって続けていただければ必ず患者さんの幸せにつながるのではないかと感じました。

### EBMerなら喜ぶこと間違いなし

ランチョンセミナーは、EBMerなら喜ぶこと間違いなしの豊島先生ことキムチさんの解説。ARR, RRR, NNTとは何か、日本のローカルルールであるカリエスの臨床的検出基準によるカリエス診断で削っていたカリエスはもう削らなくて良いというICDAS IIの解説をして頂きました。

### 「ついついブラッシングをしてしまう」という行動変容

午後は「ためしてガッテン」のNHK

科学・環境番組部専任プロデューサーである北折一さんによる「ガッテン流传える・伝わる！セミナー」を楽しませていただきました。伝えたい番組内容であっても、観てもらわなければ、相手に伝わらなければ意味がない。これは、歯科でもいえることで、伝え方一つで「ついついブラッシングをしない」から、「ついついブラッシングをしてしまう」という行動変容につなげるテクニックが必ずあります。そして、もう一つ、腹周りの脂肪は美味しい食事、幸せの結果ではなく、間食を続けた結果の汚れたモノで、脳の性質を逆手に取った北折さん実体験のダイエット法でした。体重計の細かいグラフを書き、減少することが脳の快感になれば良いという内容でした。自分も2～3ヵ月で約20kgダイエットし、リバウンドなく過ごしているので、とても楽しかったです。

塩原康弘（鶴見歯科医院）

\* \* \*

### “伝わる！ 感想文”

午前の部は「わくわく！ワークショップ！」。まずは、「カリエスリスクの高い小児とその親へのアプローチ」、「唾液量の少ない方へのアプローチ」、「上がるプラークスコア」、「リコール間隔の判断基準について」、「初めて重度歯周病の患者さんを担当して」、「中高生へのアプローチ」についてのプレゼンテーションでした。それぞれの皆さんが悩んだこと、アプローチの仕方などを近くの席の人たちで話し合いを行い、提案をする。その後、コメンテータの豊島先生、浅田先生、島田さんが行う。という形式で進めました。近くの席の人と話すと、「こんな時どうしてる？」「そうねー」と話が盛り上がり、どのトピックについても話し始めると初めてあった人なのに会話は止まらなくなりました。発表者の皆さんは、フレッシュな歯科衛生士さんも規格

性の高い写真や資料を用意して、時間内にきちんと話をまとめる。すごい！（わかりやすい！）やばい！（写真うまい！）驚嘆すると同時に、自分達は…と、ついつい比較し、内心、冷や汗を流していました。

お弁当を食べながらのランチオンセミナーは、キムチさんによる（どなたかと思ったら実は豊島先生でした）ICDAS IIの紹介でした。イギリスのカリエス判定基準は日本のC1, C2とは全然違うことに驚き、ヨーロッパの人たちとの意識の格差、そして、日本の歯科医療界全体で考えた時の格差… 考えさせられました。私たちはクリニックでの歯科医療サービスなので、「この考えだね」と後で院長と話をしました。

午後はNHKの「ためしてガッテン」

のプロデューサー、北折一さんの話。「テレビではどうやって視聴者を引き付けるか」は日常の臨床の中で、患者さんの関心をどうやって引きつけるか、ということにとっても参考になるお話でした。翌日の月曜日には早速、歯周病の説明で「ビジュアルに、擬人化して、自分事化して」を意識して患者さんと話してみました。確かに患者さんもちょっと楽しく理解してくれたかな！？

北折さんのお話の後半はメタボリックシンドロームの話と“測るだけダイエット”。朝晩体重を測るだけで、体重が減る。まさか、と思いましたが、実際今朝まで3回回ったところ、北折さんのお話どおり、右肩下がりに驚きました。50グラム体重を減らすことの積み重ねで、10日で500グラム、100日で5キロ

グラム。「ちりも積もれば山となる」この視点は今までありませんでした。

最後に、隣の人と自分の大切にしていること、夢について、話し合いました。家に帰るとその方からメールが届いてとても嬉しかった。懇親会でもいろいろな方と話すことができ、元気をもらい、「自分」についての再確認もできた中身の濃い1日でした。

「大切な情報は可能な限り面白く伝える」。感想文で試しました。できているでしょうか。

武内淳子（ゆきお歯科医院）

※ 感想文のうち内容の重複する部分は割愛しています。



## 関西ヘルスケア歯科談話会主催 第4回 関ヘルセミナー 報告

2008年6月28日 TBホール

### 報告

大井孝友（岸和田市開業）

平成20年6月28日（土）関西ヘルスケア歯科談話会（関ヘル）主催で関ヘルセミナーが開催されました。これは昨年まで予防セミナーと呼ばれていたものですが、『スタッフと学ぶ予防歯科の実践』とタイトルがつくように、スタッフも一緒に懇親会までもがセットになったセミナーです。

午前中は藤木省三さん（神戸市）が、

受付や歯科助手も含めて診療室のスタッフ全員がむし歯や歯周病に関する知識を持っているのといわないのでは大きく違ってくるかと講演され、良心と創意工夫の大切さを話されました。

昼食後、斉藤仁さん（札幌市）が、本来あるべき歯科医療とは何か、歯科医療従事者が自信とプライドをもって仕事をするためにどんなことをしなければならないのか、ご自身の診療所の移転を例にして講演され、予防がベースとなる診療像を話されました。

その後、ドクターと歯科衛生士・歯科助手に分かれて、“Drミーティング” “DH・DAだけミーティング”を行いました。“Drミーティング”では関ヘル役員の2医院の診療室のマネジメントに関して発表がありました。

まず高橋啓さん（愛媛県南宇和郡）が、昨年のこのセミナーにスタッフと共に参加してからの一年間という短期間の中で、診療体制を整えるためにどうした取り組みを行い、どのように変えていったかを話されました。勉強するには地理的条件が不利な場所ではあるが、予防をベースにおいた診療室を作りたいという情熱がひしひしと伝わってきました。

続いて寺田昌平さん（姫路市）が、出会った本や講習会など異業種からの気づきのなかで、チーム医療を実践するためにご自身もスタッフも自己成長や人材育成に取り組まれているお話が聞けました。自分自身の反省点を気づかされ、そのすさみを除去する方法を教えてくださいました。

“DH・DAだけミーティング”では阿部恵さん（大分市）が、ご自分の誕生日という大切な日にもかかわらず来阪していただき、グループディスカッションの中でコーチングという手法を利用して、素敵なデンタルスタッフへ踏み出していくためのモチベーション向上のお手



伝いをしてくださいました。ドクターと合流後、各グループの代表がミーティングの報告をする姿やミーティング前後の彼女たちの顔つきの変化が、その成果を期待させるものでした。

まずは自分自身の『すさみ』を取り除き、『良心と創意工夫』を持って、『素敵なデンタルスタッフ』と一緒に、『予防をベース』とした『診療所作り』に向けて気持ちを新たにすることができました。講師の先生方、ありがとうございました。

最後に、2008年12月14日（日）に千里ライフサイエンスセンターにて関ヘル主催の第8回スタッフミーティングが開催されます。皆さんも明日からの元気の素とヒントを見つけにスタッフとご一緒に参加してみませんか？



### 関ヘル DH・DA ミーティングに参加して

三輪ゆかり（てらだ歯科クリニック・姫路市）

大分県の阿部 恵先生によるミーティング『金のオノと銀のオノ』の話で始まりました。正直な木こりの話を羨ましく思ったある木こりが真似をしてオノを湖に投げたのですが、神様にその時、うそを見抜かれてしまい、金のオノも手に入れることができず、自分の大切にしていたオノまでも失ってしまった… という話です。でも、なぜ神様はうそだと見抜いたかをグループに分かれて考えました。

『話し方・表情・目が泳いでいた・声のトーン・やたらと金のオノに食いついていた…』等の意見が出て、内容より表情・見かけ・動作でほとんどの人の本心が見抜かれてしまう。2番目に、声のトーン・言葉の調子でも第一印象がついてしまうが、人は最初の3秒でその人の印象をもってしまい、一度ついてしまった印象は3年ほどは消えないため、人と接す

る私たちの仕事では、日ごろ常に気をつけていかなければいけないと思いました。

相手と接する前に、コミュニケーションでまず大切なことは、服装、これもほぼ第一印象で決まります。次に、表情・雰囲気は笑顔で接することが一番。また、ポジション、真横や真正面だと威圧感を与えやすいので、90度の角度で話を聞くというのが大事です。また、声のトーンが紹介されました。これは話の合わせ方のことで、お年寄りや子供に対しては相手に自然に合わせることができるのですが、その中間の年齢層の人たちには、なかなか合わせる事が難しく、できていないのが現状です。そのため、そういう人たちに対しては、相手の雰囲気や性格を自分なりに感じ取って、合わせて話していくといいそうです。

最後に、いくら見た目や笑顔が素敵な人でも、姿勢が悪いと、印象が悪くなってしまうことがあるので、そこまで意識していかなければいけないと思いました。

話をするときには、一度目を離すと相手もそらしてしまい、意識が違う方になってしまうので、できるだけ視線はそらさないようにする。また、メモなど取る時は一声かけてするといいそうです。これらのことは、意識して習慣づけなければなかなかできないと思います。それでも、少しでも意識をして実行すれば変化が訪れるかなあっと思いました。また、どんなときでも常に目標を持ち続け、自分を信じていれば、夢は叶うものです。その例えとして、最近のオリンピック選手は、メダルを取って活躍している選手が多いです。昔は、『お国のため!!』と考えている選手が多かったが、今の選手は『自分のために!!』と目標を持って試合に臨む人が増えてきたから結果が結びついてきたのだと思います。私たちも目標を持ち、行動することが大事だなあっと思いました。最後に、幸せになる!! とって生きている人は必ず幸せになれる!! と阿部先生の言葉が印象的でした。



### ファシリテータで参加して

北村美知枝（てらだ歯科クリニック・姫路市）

第4回関ヘルスタッフミーティングにファシリテータとして参加しました。数回のスタッフミーティングには出席させていただいていたのですが、ファシリテータとしては初めてでした。今まではなんとなくファシリテータを見ていたので、どのようなことをすればいいのかまったくわかりませんでした。

そんな私に優しく教えてくださったのは講師の阿部 恵先生でした。事前のミーティングではタイムスケジュールや受講者の方々に学んでいただきたいこと、飽きさせない工夫など、講義内容の意図なども説明してくださいました。講義中は阿部先生が各グループをまわり、積極的に話しかけるのではなく「見守り・導く」ということをされていたので、『ファシリテータ』とは、講義を順調に進めるサポートだけでなく、受講生の皆様の表情や反応を客観的に捉えること、ほんの少しのアドバイスができる力などが必要なのではないかと思います。

残念ながら私はその役割を十分に果たすことはできなかったのですが、次回チャンスがあればもう一步踏み込んだファシリテータをやらせていただきたいと思いました。受講生だけでなく、私自身も貴重な学びの場となりました。ありがとうございました。



## 東京ヘルスケアグループ主催 第4回 スタッフミーティング

2008年7月6日 川口市民ホール フレンディア

東京ヘルスケアグループの第4回スタッフミーティングが開かれました。詳しくは、次号に報告を掲載します。午前も午後もスモールグループワークですので手が込んでいますが、すべての企画と運営を歯科助手の島田美映子さん（宇藤歯科医院）と歯科衛生士の大島知佳さん（河野歯科医院）が中心になって取り仕切るスタッフ主体のミーティングです（ドクターの企画者は、野村英孝さん、上田康弘さん）。会場には、若さが溢れていました。写真は、終わりに昨年の企

画担当のお二人から花束を受ける島田さんと大島さん。

来年の企画担当者も、この場で、細谷優香さん（武内歯科医院）と長山和枝さん（わたなべ歯科）に決まりました（ドクターは田中正大さん、安田直美さん、この場で決まってしまう雰囲気がスゴイ！）

2009年は6月28日（日）、会場は今回と同じ川口フレンディア。これから1年をかけて準備することになります。



## 書 評

『むし歯って、  
みがけばとまるんだヨ  
—削って詰めるなんてもったいない！』

著者；岡田弥生  
出版；梨の木舎 2008年2月  
定価；1,575円（税込）

吉弘 幸（たかはし歯科）



著者は、20年間、乳幼児の歯科健診に従事してこれ、その経験のなかから得たものがこの本の中に凝縮されています。内容はいろいろ興味深いものがあり、その中で私が考えさせられたことが三つありました。

一つ目は、「むし歯」についてです。一般の人は、「むし歯」と聞くと穴のあいた状態を思い浮かべることでしょうが、穴になるまでには過程があります。その過程で私たち歯科医療従事者がやるべきことがあります。初期のむし歯を発見できない・発見しても適切なアドバイスも出来ないようではいけないことを強く感じました。

二つ目は、この本のタイトルである「むし歯ってみがけばとまるんだヨ」という現実です。このことを患者さんに具体的に伝え実行していき、本の中に出てくる「花まるむし歯（初期むし歯を手入れして治した虫歯）」をどんどん増やしてお

母さんや子どもの自信につなげていくことが私たちの役目であると思いました。

三つ目は、歯科健診のありかたについてです。私には二人の子どもがいます。歯科健診においては毎回違う歯科医師に診てもらい、むし歯の「ある」「なし」のみの健診に疑問を感じていました。著者のような歯科医師に出会い、同じ目で診てもらうことほど安心感のあるものはないと思います。むし歯があっても「むし歯ってみがけばとまるんだヨ」と言ってもらって次の健診で「むし歯の進行は止まっています。大丈夫です」と言ってもらえれば、自信を持って育児ができると思います。

これから親になる人、子どもをむし歯にさせたくない人に読んでもらいたいと思います。まさに、歯の育児書とよべる1冊です。当医院の待合室には勿論、さらには産婦人科の待合室、乳幼児健診の場にも置いていただきたいです。





## 第3期生(2008年度)募集のご案内

歯科衛生士育成プログラム基礎コースにつきましては満席となりました。キャンセル待ちを希望される場合は、事務局までお問い合わせください。検定コースは受け付けています。受講ご希望の方は、事務局までファックス（用紙はニュースレター 11-1 にあります）にてお申し込みください。会員ホームページ、携帯サイトからも申し込み可能です。

### 検定コース

日 程： 2008年10月12日(日)、13日(祝)  
 受講費： 30,000円/歯科衛生士1名  
 院長オブザーバー参加 10,000円  
 会 場： 新東京歯科衛生士学校



携帯から申込み可能です QRコードが読めない場合は、  
[http://www.healthcare.gr.jp/keitai\\_mail/ikusei.html](http://www.healthcare.gr.jp/keitai_mail/ikusei.html)へ

### その他催しもの案内

#### 関西ヘルスケア歯科談話会主催 第8回スタッフミーティング

第8回を迎えるスタッフミーティングは、会場を再び千里ライフサイエンスセンターに戻し、関西ヘルスケア歯科談話会の活動を一人でも多くの方に聴いてもらおうと思っています。今年も関ヘルのスタッフミーティングで元気になってください。

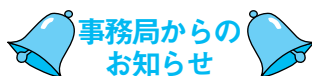
日 時： 2008年12月14日(日)  
 会 場： 千里ライフサイエンスセンター  
 大阪府豊中市新千里東町  
<http://www.senrilc.co.jp/>

定 員： 約350名  
 参加申込受付： 今秋案内の予定

～昨年の参加者の声より～

- ・1年ぶりのスタッフミーティングで、いろんな場所で頑張っておられる Dr.・DH・DA の話が聞け、また明日から初心に戻って私も DH として成長したいと思いました。
- ・いつもありがとうございます。毎年自分の1年間を振り返るよい機会になっています。
- ・初めて聞くことや忘れていたことを思い出したりと大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・今回この研修に参加できてよかったです。学校の勉強とは違い実際の臨床でのお話で大変興味深かったです。刺激になりました。明日からの学校での勉強、医院での勉強にがんばりたいと思いました。

企画責任者： 金尾好章 Fax. 073-432-0510  
 実行委員長： 寺田昌平 Fax. 0792-47-2801  
 事務局： 木村幸司 Fax. 087-847-4874



### 事務局からのお知らせ

#### ●会員登録内容の変更について

住所、電話番号、ファックス番号、e-mail アドレス、準会員等の追加・変更がありましたら、事務局までファックスもしくは e-mail でお知らせください。

**Fax: 03-3260-4906**

**e-mail: center@healthcare.gr.jp**

事務局は月曜日から金曜日までの午前9時30分から午後5時30分までスタッフが常駐しています。お電話は時間内をお願いします

#### 現在の会員の構成(7月10日現在) 会員合計 4,442名

正会員		準会員	
歯科医師	1,229名	歯科衛生士	2,598名
歯科衛生士	102名	歯科技工士	89名
歯科技工士	1名	その他	384名
その他	6名	準会員計	3,071名
学 生	1名		
法人会員	32社		
正会員計	1,371名	認定歯科衛生士	33名

※前号より会員数が減っていますが、今号より2008年度未入金者は除外しています。

#### ◆新入会法人会員◆

株式会社だいのう  
 ウエルテック株式会社(再入会)  
 メディア株式会社

## 日本ヘルスケア歯科研究会コアメンバー会議

## コアメンバー会議報告 19

開催日：2008年6月2日（日）午前10時～午後4時30分

会場：八重洲倶楽部（東京）

出席者：足本 敦，伊藤 中，河野正清，斉藤 仁，杉山精一，田中正大，成田信一，藤木省三

事務局：秋元秀俊

## 1. 財政健全化について

- ・事務局員減に伴って、事務局作業を省力化する  
ウイステリアのメインテナンスの工夫（Q&Aの充実など）  
研究会内通貨ヘルス記録の自己申告制
- ・財政健全化計画を秋元が提出することとする
- ・企画商品について  
会員にとってのメリットをもっとうまく伝える。それを使って達成できるイメージを伝えることが必要。  
自前で患者向け資料が作れるイラスト集などがあるという。  
健康ノートが売れない理由については、オピニオンメンバー会議で尋ねるとか、ユーザーアンケートをしてみるといい。  
子ども向けの健康ノートをつくるべきだろう。  
などの意見の結果、当面以下の作業を行うこととした。  
  - ／永久歯完成まで健康手帳バージョンの開発
  - ／ウイステリアのバージョンアップで健康手帳との連携を強める

## 2. ワンデーセミナーの集客問題

- ・大阪については関係診療所のスタッフの参加を促す
- ・開催方法を今後改善する  
この議論においてワンデーセミナーの目的は、ヘルスケア型診療の普及か、会員診療所のレベルアップかという問題が問われた。それに関連して、会員診療所のレベルアップに集中して、各論をみっちり、その各論のなかから必要なものを選ぶようなコースにしてはどうか、という提案があった。衛生士育成コースの医院向け版のイメージ。目的は、会員の認証を目標にした研修に絞るべきだ、という意見があり、ここから認証診療所になることの意味に関する議論が派生した。

## 3. 認証の目的と広報

- ・認証診療所になるメリットが明確に示されていない。  
認証診療所になることが、患者を集めるマーケティングにつながるというような期待に応えるべきだとする意見と、認証のメリットは、そのような診療ができて患者に還元できるということだとする意見の対立があった。後者の意見では、あくまでも医院のシステムの確立、医院のレベルア

ップが認証の目的で、集客はついてくるものと考えられる。

前者の意見には、結果が得られれば方法は何でもいい。高適な理想で診療している人だけの認証ではだめ。何か明確な褒美、すなわち患者がたくさん来るといふ褒美が必要だ。学会専門医制度も、結局そのような理由で人気が集まっていると考えられ、歯周病学会の会員が増えている事実が紹介された。認証診療所は、せめて三桁までは増やさない、広報さえできない。パイプルのプランは、やり方によっては、行き場を探している患者のための良い情報源になる。認証は理念だけではだめ、などの意見が出た。

## 4. 若い歯科医にヘルスケアの理念をどう伝えるか

- ワンデーセミナーの議論の延長線上で、「若い歯科医にヘルスケアの理念をどう伝えるか」という話題が話された。大学はいま、予備校化しており、学生の関心はもっぱら国試。その意味では、研修医向けの広報でないという意味がない。研修医向けの情報提供は研修施設になることが早道だが、研修施設になることは個人のレベルの話で、研究会としての施策を考えるべきだとする意見と、研修施設として個別診療所が認知されることで、会が認知されるとする見解が出された。  
  - ／研修医に会誌、POEM、ニュースレターを送る方策を検討する
  - ／新患を断っている認証診療所の成功例をニュースレターや商業誌で紹介する
  - ／メーリングリストの扱いなどコアメンバーが同窓会に問い合わせる
  - ／ヘルスケアメンバーによる講演会の可能性についても問い合わせる

## 5. オピニオンメンバー会議の議題について

- ・来年度重要課題の協議をしたい  
新認証診療所を増やす方策で、研究会が求心力を高めるためのテーマであって欲しい。  
具体的提案として、認証診療所になることで、どう変わるのかの成功例を示してはどうか。「認証が取れるようになるセミナー」を検討すべきだ、とされた。

## コアメンバー会議 予定

## 9月のコアメンバー会議

日時：2008年9月28日（日）午前10時～午後1時

会場：東京八重洲ホール 会議室412

（東京駅・八重洲口徒歩2分）

<http://www.yaesuhall.co.jp/map.htm>

※会員の傍聴は自由です

## 第二次 QOL 調査研究報告会

2008年9月28日（日）午後2時～4時

講師：内藤 徹（福岡歯科大学）

東京八重洲ホール 会議室412

※会員参加無料、会員の参加に制限はありませんが、スケジュール変更などの連絡のため、出席者は事前にご連絡ください。

## 6. ヘルスケアミーティング

・参加費は以下のとおりとする

歯科医師	12,000 円
スタッフ	5,000 円
非会員歯科医師	15,000 円
非会員スタッフ	7,000 円

当日入会者には、入会金チケット 3,000 円（3,000 円割引）の特典をつける。参加と同時に入会した場合のみ、スタッフの入会金チケットは同額の 3,000 円とし、歯科医師以外は入会金が免除される。

学生（院生などを含む）、研修医＝会員スタッフと同じ。

・ヘルスケアミーティングの広報について

歯科商店にパンフレットの配布依頼をする。

広告の pdf 版をつくって広く転送を促す。

雑誌広告は月間 2 誌（ザ・クインテッセンス、歯界展望、デンタルダイヤモンド、歯科衛生士、デンタルハイジーンから）を 3 ヶ月間とする。

## 7. 来年のヘルスケアミーティング

組織づくり、チームづくりをテーマにしたものから 10 周年に相応しい格調ある学術的な内容、あるいは臨床に即した話題、ちょっとこだわっている細かいテーマ、認証への道であるべき、プロデュース会社を入れてイベントはどうかなど意見は多岐にわたった。

議論がある程度まとまった事柄

／一部は、今年のヘルスケアミーティングのフォローアップ（実績発表など）

／認証診療所で患者数が増えている事実を示し、前向きに整理し直すとともに、次の展開を示す。

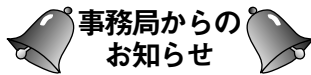
／10 周年診療所がいくつか発表する

## 8. 今年ヘルスケアミーティングのポスターセッション

公 募：ニュースレターで行う

テーマ：院内のコミュニケーション、患者さんへの情報提供の工夫

担 当：杉山



### ウイステリア Pro / アポイント管理職

#### 〈ウイステリア〉バージョンアップのお知らせ

写真の表示、取り込みに使用していますファクトリー社の Filemaker Plug-in のバージョンアップにともない、ウイステリアのバージョンアップを準備中です。このバージョンアップで、Intel Mac にも対応になります。

このバージョンアップの機会に〈ウイステリア Basic〉\* の頒布も開始予定です。

詳細は決まり次第、ニュースレター、ホームページでご案内します。

\* ファイルメーカー（新規購入 39,900 円）および Factory's Filemaker Plug-in（20,790 円）を組み込んだウイステリアで、単独使用のみ可能です。

#### 会員用ホームページ〈ウイステリア Q&A〉に下記の情報を追加しました。

バグ：PerioAssistant3 でリスクファクターを入力すると、「遺伝子疾患」「消化器疾患」のチェックボックスに意図しないチェックが入ってしまう

バグ：PerioAssistant3 の詳細入力で右上 3 番近心頬側ポケットに 1～3 の数値を入力すると、表示 4 点画面で頬側にも数値が表示される

→修正方法 PDF を〈ウイステリア Q&A〉よりダウンロードできます。

#### 〈アポイント管理職〉日付追加について

アポイント管理職 2.0 リリース時の初期日付は 2008 年 12 月 31 日までとなっています。このままご使用の場合、半年後の予約などができません。添付のユーザーズマニュアルをよくお読みいただき、日付追加を行ってください。その際、一番最後の日付が、**2008 年 12 月 31 日**になっていることをご確認ください、空白のレコードなどがありましたら、先に削除してください。

2008年 11月 23日(日)・24日(振替休日)

川口市民ホール フレンディア (埼玉県川口市)

埼玉県川口市川口 1-1-1 キュポ・ラ本館棟 4F 048-227-7603 (<http://www.friendia.jp/index.html>)

## 新発想の診療所モデル

# ヘルスケア歯科診療を極める

### プログラム (予定)

☆印のプログラムには事前登録が必要です

#### 1日目 12:00 ~ 17:30

- ☆プログラム ① 息の長いチームをつくるために、何が必要か?  
「やらせてもらうわ、私は一生仕事するのよ、文句ある?」  
「仕事と育児~なるようにしかなりません、あせらないで!」
- プログラム ② ヘルスケア歯科診療とは
- プログラム ③ ヘルスケア診療所づくり Part1
- ☆プログラム ④ スタッフミーティング  
「チーム医療を考える… コ・デンタルスタッフとしての日常臨床への関わり方」
- プログラム ⑤ 自費のメンテナンスを考える
- プログラム ⑥ ヘルスケア診療所づくり Part2
- プログラム ⑦ ワークショップ

#### 2日目 10:00 ~ 16:30

- プログラム ⑧ 認証への道
- ☆プログラム ⑨ シャープニング講習会
- プログラム ⑩ ワンポイントレッシン
- プログラム ⑪ ヘルスケア診療におけるスタッフの役割、院内での人間関係
- プログラム ⑫ ヘルスケア歯科診療所づくり 「知っている」を「やっている」に!
- プログラム ⑬ ヘルスケア歯科診療所づくり フォローアッププログラム

### 参加費

	会 員	非会員
歯科医師	12,000 円	15,000 円
その他	5,000 円	7,000 円
学生・院生・研修医	5,000 円	

※非会員の勤務歯科医師は、非会員参加費となります。  
参加申込と同時にご入会の場合、入会金の割引があります。お問い合わせください。

### お知らせ・ご注意

- ・ 2日目のお弁当の用意はありません。各自で午後の開始時間までにお済ませください
- ・ 申込書を送信後1週間を過ぎても計算書と払込用紙が届かない場合は、ご連絡下さい。
- ・ 事前にキャンセルされた場合は、手数料を差し引いた参加費を返します。但し、10月24日以降のキャンセルは、ご返金できませんので、ご了承ください。
- ・ ☆印のプログラム ①、④、⑨ は事前参加登録(先着順)が必要です。

### お申し込み・お問い合わせ

下記申込み欄にご記入後、事務局まで FAX または 郵便にてお送りください。

〒112-0014 東京都文京区関口 1-45-15-104 日本ヘルスケア歯科研究会事務局

FAX : 03-3260-4906 TEL : 03-5227-3716

※会員用ホームページからもお申し込みいただけます。

<http://www.healthcare.gr.jp/>

## 参加申し込み Fax. 03-3260-4906

参加を申し込みます (news11-3)

ヘルスケアミーティング 2008 参加申込み (会員専用)

(必要項目ご記入、該当欄に✓印を記入ください)

フリガナ _____	会員番号: _____	<input type="checkbox"/> 歯科医師: 12,000 円	事前登録	<input type="checkbox"/> プログラム ①
ご氏名 _____		<input type="checkbox"/> その他: 5,000 円	希望	<input type="checkbox"/> プログラム ④
		<input type="checkbox"/> 学生など: 5,000 円		<input type="checkbox"/> プログラム ⑨
フリガナ _____	会員番号: _____	<input type="checkbox"/> 歯科医師: 10,000 円	事前登録	<input type="checkbox"/> プログラム ①
ご氏名 _____		<input type="checkbox"/> その他: 5,000 円	希望	<input type="checkbox"/> プログラム ④
		<input type="checkbox"/> 学生など: 5,000 円		<input type="checkbox"/> プログラム ⑨
フリガナ _____	会員番号: _____	<input type="checkbox"/> 歯科医師: 10,000 円	事前登録	<input type="checkbox"/> プログラム ①
ご氏名 _____		<input type="checkbox"/> その他: 5,000 円	希望	<input type="checkbox"/> プログラム ④
		<input type="checkbox"/> 学生など: 5,000 円		<input type="checkbox"/> プログラム ⑨
フリガナ _____	会員番号: _____	<input type="checkbox"/> 歯科医師: 10,000 円	事前登録	<input type="checkbox"/> プログラム ①
ご氏名 _____		<input type="checkbox"/> その他: 5,000 円	希望	<input type="checkbox"/> プログラム ④
		<input type="checkbox"/> 学生など: 5,000 円		<input type="checkbox"/> プログラム ⑨
勤務先・診療所名 _____	参加申し込み人数 _____	合計金額 _____		
		人		円
住所 〒 _____		電話番号 _____	-	-
		FAX 番号 _____	-	-